

少年少女わたしの作品

にじ

西京区・松陽小1年 芦塚 華

学

高島市・マキノ東小2年 山本 創士

岩

中京区・朱雀第三小3年 吳山 颯汰
小三くわん山そうた

大安

小五 藤井英万
西京区・桂東小5年 藤井 英万

伝統

六年 川北朋史
舞鶴市・倉梯第二小6年 川北 朋史

大地

一年 山本康介
伏見区・京教大付桃山中1年 山本 康介

小学校最後の運動会

伏見区・桃山小6年

本多 正明

僕は、小学校最後の運動会や練習で、心に残ったことが3つありました。

1つ目は、6年生88人が力を出しきれたことです。例えば、円陣の時に言葉を言う人がたくさんいたことや、土台の人のうめき声がなくなったことです。

なぜ心に残ったかというところ、大野先生が「これでいいのか」と言ったことで、団結力が深まったからです。

2つ目は、お母さんが来てくれたことです。1年生から5年生までの間は、仕事がいそがしくて来

作文

れなかったけど、6年生の時は来てくれました。

予定が金曜日の時は、お母さんとお父さんどっちも来てくれる予定でした。しかし、お父さんは仕事のついでで来れなかったため、新しいビデオカメラを買ってきました。大野先生が言う通り「これだけきたいさされているんだな」と感じました。

3つ目は、本番の時に練習のせいかを出しきれたことです。生で見えていた人の一部は、はく手してくれたいし、大野先生も泣いてくれてうれしかったです。

もう6年生なので、小学校での運動会はすることはないけれど、1年生から5年生までの人たちに、勇気をあたえられたと思います。小学校最後の運動会楽しかったです。

ぼくのともだち

向日市・洛南高付小1年

乗原 悠吾

ぼくのクラスには、じぶんをたすけてくれるともだちがとってもいます。

いつかぼくも、そんなやさしいひとになりたいです。

ノートをわすれたときに「じゅうちょうをかしてあげる」と、いってくれたこともありました。

ぼくが、すこしでもいえをでるのがおそかったときに、まっくれるともだちもいました。ぼくは、まっく上げることもなりたいです。

いつか、その2つのことをしてあげることもなりたいです。ぼくは、そんなやさしいところになりたいです。

詩

好きなくだ物

山科区・鏡山小6年

永田 蓮虎

好きなくだ物

みかん

すっぱくておいしい

だけど冬しか

みかんは食べれない

春から冬までまちどおしい

だから

冬になったらたくさん食べる

みかん

一つの思い出

伏見区・京都聖母学院小5年

杉本 未空

家族とけんかした秋の日

私はすごく泣いた

お月様が光を照らして

なぐさめてくれた

「大丈夫だよ」と

言っているように

家族とけんか

なぐさめてくれたお月様

どちらも私の一つの思い出だ

作品募集 小、中学生の作文・詩(いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内)および習字(半紙)で、自分の作品に限り、住所・氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモを折りつけて、〒604-18577 京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ添削することもあります。作品は返却しません。採用分には図書カードを贈ります。

編集部から

京都新聞ジュニアタイムズへの感想をお待ちしています。「こんな記事が読みたい」というご希望もあれば送ってください。メールアドレスはkouryu-s@mb.kyoto-np.co.jpです。

	2	6	8	36
2	1	1	2	1
144	2	6	2	6
12	1	1	2	6
1	1	1	1	1

(1, 2, 6)

	80	1	0	50	2
20	2	1	10	1	1
500	10	1	10	5	1
0	2	1	0	1	1
25	1	1	5	5	1
16	2	1	2	2	2

(0, 1, 2, 5, 10)

うめ算×

花点電円不現

漢字チエーン

京大博士パズル答え